

2023年度 大学院入学試験（秋季）問題用紙《論述（ミクロ経済学）》

博士前期課程
経済学専攻 (一般試験)
A・a方式

受験番号	氏名

(2-1)

※ 解答を始める前に必ず以下の注意事項を熟読したうえで、解答すること。

注意 1: 大問 I および II における各小問すべてに対して、解答用紙 3 枚以内で解答を記述せよ。必ず問題番号を付してから解答すること。解答用紙は氏名欄の右下に記載されている(1-3)、(2-3)、(3-3)の順に 1 枚目、2 枚目、3 枚目である。

注意 2: 問題の解が存在しない場合に限り、モデルの仮定を部分的に修正あるいは追加したうえで解を求めよ。その場合は、当初の仮定では解が存在しない理由を述べたうえで、修正あるいは追加した仮定を明記して解答すること。

問題 I

2 財 X, Y からなる純粋交換経済下で消費者 1 と 2 が完全競争市場を通じて取引するとする。財 X の単価を p とし、財 Y の単価を q とする。彼らの真の選好は以下の効用関数で表現される。

$$u_i(x_i, y_i) = 2\sqrt{x_i \cdot y_i} \quad \text{for } i = 1, 2$$

初期保有ベクトルは以下の通りである。

$$e_1 = (1, 0), e_2 = (0, 1)$$

正の価格ベクトル (p, q) が存在して、この純粋交換経済の競争均衡をもたらすとき、価格ベクトル (p, q) は競争均衡価格である。競争均衡価格はパレート効率的な資源配分をもたらす。

次に、消費者 1 と 2 の間で価格に依らない相対交渉取引が行われるとする。ただし、消費者 1 だけが自分の真の選好を反映した効用関数ではなく、意図的に

$$\hat{u}_1(x_1, y_1) = 4x_1 + 2y_1$$

と偽り、消費者 2 には、交渉上の相手が選好を偽っているとはわからない状況を考える。また、消費者 1 だけが自分と消費者 2 の真の選好を知っているとす。しかし、相手の初期保有量は互いにわかっているとす。交渉取引にかかる費用は無視する。

問 1: 文中に登場する以下の概念を説明せよ。

(a) 純粋交換経済 (b) 完全競争市場 (c) 競争均衡 (d) パレート効率的な資源配分

問 2: 競争均衡における各消費者の消費組を求めよ。解答に至るプロセス（計算も含む）も解答欄に記すこと。

問 3: 相対交渉取引における各消費者の消費組を求めよ。解答に至るプロセス（計算も含む）も解答欄に記すこと。

問 4: 相対交渉取引の結果、資源配分はパレート効率的になるかどうか、論証せよ。解答に至るプロセス（計算も含む）も解答欄に記すこと。

問 5: 相対交渉取引で消費者 1 は自分の選好を偽るインセンティブが本当にあるかどうか、論証せよ。解答に至るプロセス（計算も含む）も解答欄に記すこと。

博士前期課程
経済学専攻 (一般試験)
A・a方式

受験番号	氏名

(2-2)

問題 II

企業1, 2 および 3 が同じ製品を生産し、同じ製品市場および同じ地理的市場で販売している。この市場の逆需要関数を $P(x) = -ax + b$ とする。ただし、 $a > 0, b > 0$ である。

各企業 $i = 1, 2, 3$ の費用関数を $C_i(x_i) = F_i + cx_i$ とする。 F_i は固定費用、 c は同一の限界費用で、いずれも正の値とする。

3 社からなる寡占市場でクールノー競争が起きているとき、各企業 $i = 1, 2, 3$ のクールノー均衡生産量を x_i とする。

次に、企業1と2が合併する状況（水平的合併）を考える。この合併企業 M は企業3の生産量 x_3 を所与にして、利潤を最大化するように生産量 x_m を決定するとしよう。合併企業 M の費用関数を $C_m(x) = F_m + c_m x$ とする。

F_m は固定費用、 c_m は企業 M の限界費用で、いずれも正の値とする。合併後に寡占市場は複占市場になるが、需要曲線は変化しないとする。ただし、 $F_m < F_1 + F_2$ であり、 $b - c > ax_3$ および $b - c_m > ax_3$ を仮定する。

問1: 文中に登場する以下の概念を説明せよ。

(a) 固定費用 (b) 限界費用 (c) クールノー競争

問2: 企業1と2のクールノー均衡生産量の和 $x_1 + x_2$ を a, b, c, x_3 を用いて表せ。解答に至るプロセス（計算も含む）も解答欄に記すこと。

問3: 企業 M の生産量 x_m を a, b, c_m, x_3 を用いて表せ。解答に至るプロセス（計算も含む）も解答欄に記すこと。

問4: 合併後の市場価格が合併前の市場価格より低下するならば、合併後の限界費用 c_m は合併前の限界費用 c よりも小さくなるといえるかどうか、論証せよ。解答に至るプロセス（計算も含む）も解答欄に記すこと。

問5: クールノー型市場で水平的な企業合併を競争当局が事前に認めるかどうかは、市場価格の低下が生じるかどうか1つの重要な判断基準になりうる。この判断基準に照らして、このモデルから導かれる帰結はどのような現実的な含意を持つか、あなた自身の考えをミクロ経済学的に論じよ。

2023年度 大学院入学試験（秋季）問題用紙《英語》

博士前期課程
経済学専攻
(A - a・b・c
方式共通)

受験番号	氏名

(2 - /)

I. 下記は公共経済学に関する教科書の第一章の冒頭部分である。すべてを日本語に訳しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

出典：Arye L. Hillman, *Public Finance and Public Policy* (Second Edition), Cambridge University Press, 2009, page 3.

2023年度 大学院入学試験（秋季）問題用紙《英語》

博士前期課程
経済学専攻
(A - a・b・c
方式共通)

受験番号	氏名

(Z-Z)

II. 以下の文章を読んでその要旨を600字程度に要約しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

出典 John Maynard Keynes, *A TRACT ON MONETARY REFORM*, Macmillan, London, 1923.

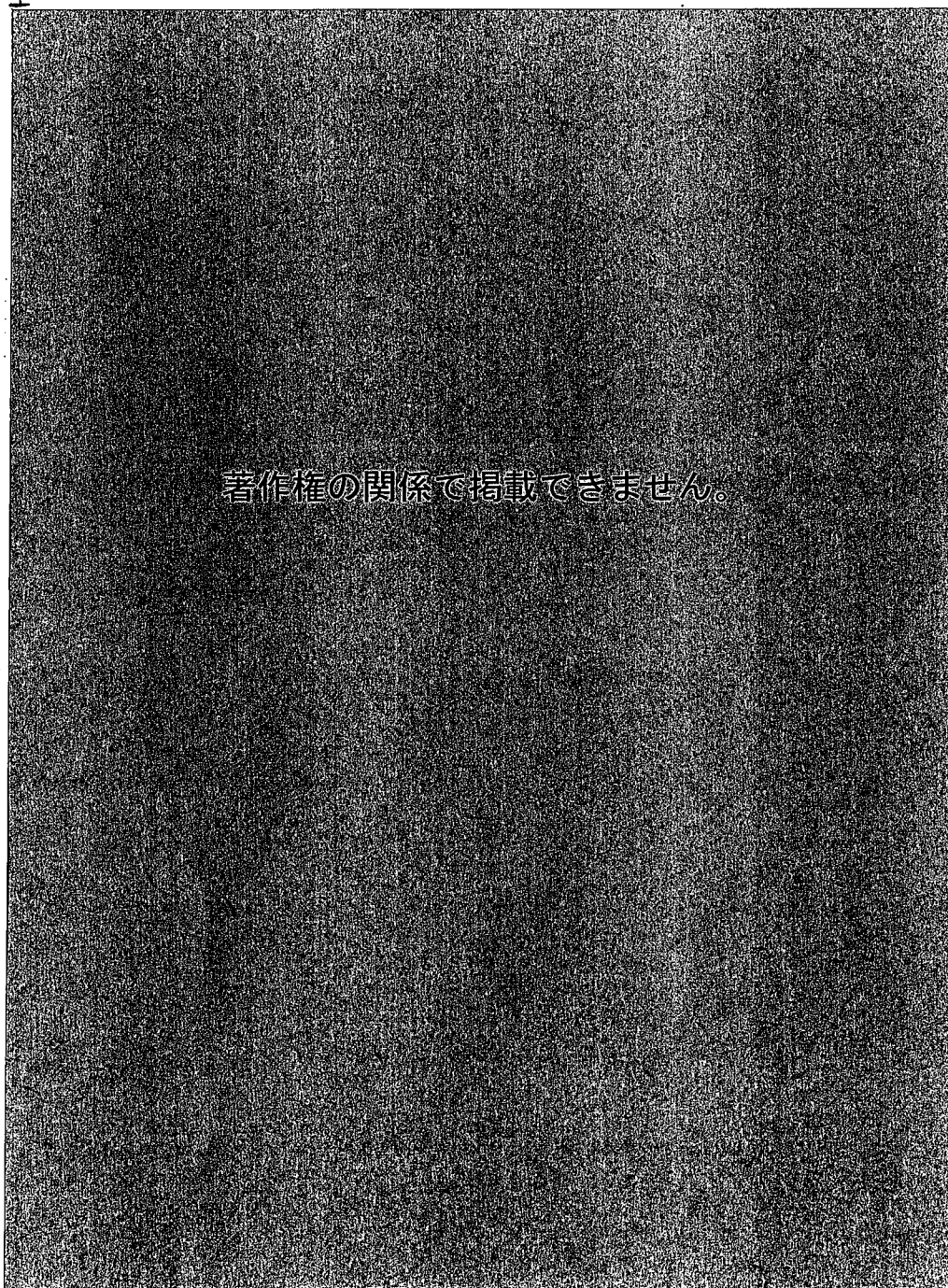
2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士前期課程
経済学専攻
(A・a・b・c
方式共通)

受験番号	氏名

(2-1)

I 以下の英文を読み、下線部(1)～(6)を日本語に訳しなさい。



2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士前期課程
経済学専攻
(A - a・b・c
方式共通)

受験番号	氏名

(2 - 2)

著作権の関係で掲載できません。

出典：Louise Young, *Japan's Total Empire*, University of California Press, 1998, pp.352-354.

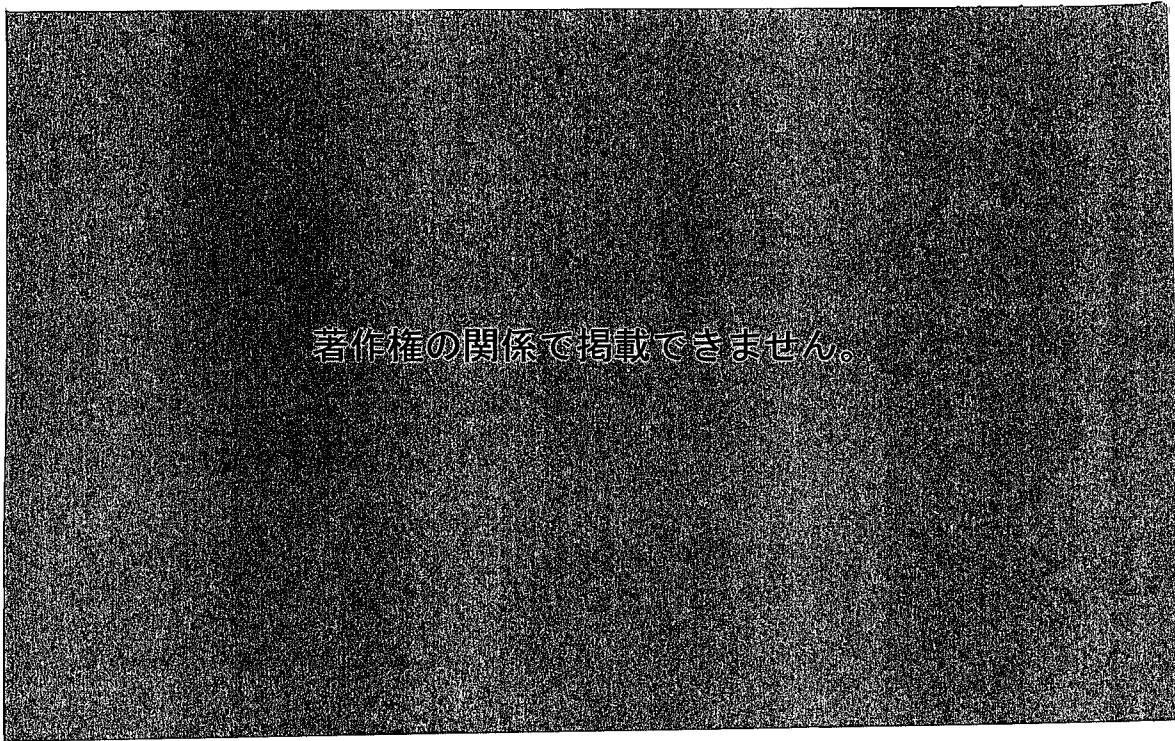
2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士前期課程
経済学専攻
(A - a・b・c
方式共通)

受験番号	氏名

(/ - /)

II. 以下の英文を日本語に訳しなさい。



出典：Council of Economic Advisers (US), ed. *Economic Report of the President, Transmitted to the Congress April 2022 Together with the Annual Report of the Council of Economic Advisors*. Council of Economic Advisers, 2022, pp.21-22.